

さまざまな理由により、親と一緒に暮らすことのできない子どもが約4,000人います。このような子どもたちを自らの家庭に迎え入れ、温かく愛情をもって育ててくださる方を「里親」と言います。子どもが成長する過程において、特定の信頼できる大人との間での愛着形成がとても重要です。当日は、東京都の里親制度の説明と、養育家庭経験をした若者が登壇し、里親との関係や里親家庭の生活について話をします。

☑養育家庭(里親)体験発表会(個別相談実施) 定30人程度(申込順) ※保育あり。3人(申込順) ☎電話または申込フォームから

▶子ども家庭支援センター ☎042-425-3303



申込フォーム

### 三多摩は一つなり交流事業

11月22日(金)

午前8時集合～午後5時解散  
ニッ塚処分場および生涯青春の湯つるつる温泉(集合・解散:タクトホームこもれびGRAFAREホール前)  
※雨天決行

「ニッ塚処分場見学会およびつるつる温泉」のバスツアーを開催します。私たちが排出したごみがどのように最終処理をされているのか見学しませんか。

☑午前10時:ニッ塚処分場見学→午後0時30分:つるつる温泉到着(昼食と休憩) ☑在住・在勤・在学の18歳以上の方(2人まで申込可) 定22人(申込多数は抽選) ☎10月31日(休)(必着)までに、往復はがきに件名「ニ

ッ塚処分場見学会」・参加を希望される方全員の氏名・年齢・性別・住所・電話番号・携帯電話番号(お持ちの方)・通勤または通学先・参加人数を明記し、〒202-0011 泉町3-12-35 ごみ減量推進課へ

▶ごみ減量推進課 ☎042-438-4043

### 多摩5美術展ワークショップ「キットパスを使って会場のガラスを彩ろう!」

11月24日(日) 午前10時～正午 きらっと

11月23日(祝)～29日(金)に開催される多摩5美術展の会場のガラスに、絵を描いたり色を塗ったりするワーク

ショップを開催します。5年に1度、西東京市で開催される多摩5美術展と一緒に盛り上げませんか。たくさんのご応募をお待ちしています。

☑圏域5市(西東京・小平・東村山・清瀬・東久留米市)に在住、在勤、在学の小学4年生以上の方 定15人(申込多数は抽選) ☎鈴木信子さん(キットパスアートインストラクター)

☎11月1日(金)までに、メールで件名「多摩5美術展ワークショップ」・氏名・住所・年齢・電話番号・メールアドレスを明記し下記へ

▶文化振興課 ☎042-420-2817 ☒bunka@city.nishitokyo.lg.jp

## 子ども条例市民講座 ～子どもにやさしい西東京を目指して～

10/26(土) 第1部:午後1時～2時30分  
第2部:午後2時40分～3時30分  
場 田無庁舎5階

### ◆第1部:西東京市子ども会議発表会・座談会 ～子どもと一緒に考え・子どもの声を施策化する～

7月14日、8月3・4日に開催された子ども会議に参加した子どもが意見を発表し市長をはじめとしたおとなと意見交換をします。

☐登壇者 子ども会議に参加した皆さん・森田明美さん(西東京市子ども子育て審議会会長<sup>ほか</sup>)・子どもの権利擁護委員(CPT)の皆さん

### ◆第2部:西東京市子どもの権利擁護委員令和5年度活動報告会

☎木村真実さん・井利由利さん・谷川由起子さん(西東京市子どもの権利擁護委員(CPT))

定50人(申込順) ※保育あり。(生後6カ月以上未就学児<sup>まで</sup>・申込順、保育の申込は10月18日(金)午後3時<sup>まで</sup>) ☎10月24日(休)午後5時まで、電話または申込フォームから ※詳細は市HPへ

▶子育て支援課 ☎042-439-6645



申込フォーム



市HP

## 認知症サポーター

認知症になっても安心して暮らし続けるためには地域での見守り、ちょっとした手助けが必要です。まずは、認知症とは何か、基本的なところから学んでみませんか。

### ☐認知症サポーターとは

認知症を正しく理解し、地域で生活している認知症の方や家族を見守り、自分でできる範囲で支援する方のことです。認知症サポーター養成の取組は全国的に展開されています。

### ◆認知症サポーター養成講座

☎10月19日(土)午後2時～3時30分 場 緑町市民集会所 ☑認知症サポーター養成講座を受講したことのない方 定30人(申込順) ☎10月11日(金)までに、電話または申込フォームから ※参加者には手作りオレンジロバのストラップを贈呈 ※5人以上集まれば、市内出張講座可

### ◆ステップアップ講座

認知症サポーター養成講座を受けた方が、認知症の方の理解を深め、認知症の方々などの支援につながるよう、より実践的な内容を学ぶための講座です。

☎1日目:10月19日(土) 2日目:12月14日(土) 両日とも午後1時30分～3時30分(開場:1時15分) 場 イングビル ☑認知症サポーター養成講座を受講したことがある方 定30人(申込順) ☎認知症地域支援推進員・認知症看護認定看護師 ☎10月11日(金)までに、電話または申込フォームから ※1日目終了～2日目前日に「認知症カフェ」への参加が必要です(日時は講座の中でご案内します)。

▶高齢者支援課 ☎042-420-2811



市HP

## 多摩六都科学館 ナビ

### 大型映像「オーロラの調べ」 神秘の光を探る

10/1(火)から(終了日未定) 午後2時30分～3時5分 多摩六都科学館 サイエンスエッグ



北極圏で見える星空、氷河やツンドラに連なる山々の絶景とともにアイスランドやアラスカで撮影したオーロラの魅力をお楽しみください。

定234人 ☎観覧付入館券(展示室+大型映像1回)1,040円(4歳～高校生420円) ☎当日開館時よりインフォメーションにて観覧券を販売(先着)

場・間 多摩六都科学館

☎042-469-6100

※10月の休館日:10月7日(月)～10日(木)・15日(火)・21日(月)・28日(月)

## ロクトサイエンスコラム

### 113・多摩六都科学館の庭から「光るトビムシ」を発見!

トビムシという生き物を知っていますか?名前を聞いてもピンとくる人は少ないかもしれません。トビムシは体長1～3mm程度の6本脚の節足動物で、森林土壌をはじめ、植木鉢の土、洞窟、潮間帯、南極など、さまざまな陸地の環境に棲息している私たちの生活圏でも見られる身近な生き物です。そのトビムシの中で発光するものがあることは、江戸時代から知られていました。長らくその正体は不明でしたが、その種が最近解明され、発光生物の研究者たちの間で話題になっています。多摩六都科学館の庭でも光るトビムシは確

認されていましたが、スタッフによる研究の結果、これまで光ることが報告されていなかった新たなグループ(属)の一種であることが分かりました。皆さんの足元にも、まだ発見されていない生き物がいるかもしれません。ぜひ観察してみてください。



画像提供:大平敦子

多摩六都科学館の庭から発見された「光るトビムシ」

「西東京市からのお知らせ」FM西東京(84.2MHz)

①午後0時45分～1時(月)～(日) ②午後8時～8時15分(月)～(金)

音声版「声の広報」も作成しています

「広報西東京」をデジ版・CD版でお聞かせになれます。詳細は、谷戸図書館☎042-421-4545へお問い合わせください。

公式



そのほか



リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

